

平成 29 年度 事業計画

我が国は世界に前例のない速さで少子高齢化が進んでいます。とくに、超高齢社会の到来により、地域社会の活力低下や高齢者の孤立化、認知症高齢者の増加などの問題が顕在化しています。

このような中であって、老人クラブ（以下「クラブ」という。）は、地域を基盤とする自主的な組織として、健康づくり、仲間づくり、高齢者相互の支え合いづくり、社会貢献活動などをおして、高齢者の健康寿命の延伸、生きがいづくり、地域における協力関係を構築することが期待されています。

横浜市老人クラブ連合会（以下「市老連」という。）は、こうした期待に応えるため、「健康・友愛・奉仕」の三大運動を進めて、活力ある地域社会づくりに取り組んでいきます。

今年度の主な取り組み

- ・ 認知症高齢者の増加を見据え、クラブ会員全員が認知症を正しく理解して認知症高齢者等にやさしく、安全安心に暮らせる地域づくりに貢献するため、「認知症サポーター10万人計画」事業に取り組めます。
- ・ 高齢者の健康づくり、介護予防事業を推進する「健康づくり・介護予防推進員」を養成します。
- ・ これまで紹介してきたシニアスポーツに加え、クラブの皆さんが取り組んできた文化活動も紹介する場として「シニアの祭典」を開催します。
- ・ 友愛活動を推進するため、友愛チームなどが実施する居場所たまり場施設の借り上げ経費の一部を助成するとともに、友愛活動の参考事例を調査収集し、事例集を作成します。

I 公益目的事業

1 老人クラブ助成事業

(1) 単位クラブ及び区老人(シニア・シルバー)クラブ連合会(以下「区老連」という。)への支援

① 単位クラブ等への支援

ア 単位クラブへの助成

単位クラブに対し健康づくり・仲間づくり・地域への奉仕や、各種スポーツ活動など幅広い活動を支援するため助成します。

イ ミニクラブ活動等への助成

クラブ活動につながる小グループにミニクラブ(15人以上、30人未満)として助成を行い、5年以内での適正クラブ(30人以上)への移行を支援します。

なお、平成29年度から30年度まで2年間の暫定措置として5人以上、15人未満のグループも支援します。

② 各区老連への支援

単位クラブや地区(支部)クラブ連合会(以下、「地区老連」という)の活動を支援し、各種大会を開催したり、単位クラブや地区老連の人材育成を進める各区老連に対し助成します。

また、区老連事務局の役割は重要であり、その円滑かつ適正な事務処理を進めるため、事務局職員のスキルアップの支援や情報提供を行います。

(2) 健康づくり・介護予防事業の推進

高齢者が日常生活の中で楽しみながら継続的に取り組み、介護予防にも繋がる健康づくりのための各種事業を支援します。

① 「体操ひろ場」事業

単位クラブが中心となって、高齢者が地域での体操やウォーキング等を通して健康の輪を広げ、寝たきりや引きこもりになるのを防止し、仲間づくりを進めていく活動へ助成します。

② かがやきクラブ横浜「認知症サポーター」10万人計画事業(新規)

認知症の人は平成37年に約700万人(高齢者の約5人に1人)に増加することが見込まれています。すべてのクラブ会員が認知症を正しく理解することにより、認知症高齢者等にやさしく、安全・安心に暮らせる地域づくりに貢献するため、認知症サポーター養成講座を実施します。また、この事業の企画、運営を通じて女性リーダーの育成を進めます。

③ 健康づくり・介護予防推進員の養成(新規)

区老連がすすめる健康づくり・介護予防事業を推進する「健康づくり・介護予防推進員」を養成します。

④ 「シニアの祭典」の開催(拡充)

シニア向けのスポーツ種目を紹介し、実際に体験できるシニアスポーツの祭典を開催してきましたが、これまでのシニアスポーツに加え各区老連が取り組んできた文化活動も紹介する場として「シニアの祭典」を開催します。

⑤ 区老連スポーツ活動への支援

高齢者を対象とした日常生活を豊かにするスポーツ活動事業に対して助成します。

⑥ 活動拠点型健康づくりモデル事業

活動の核となる公園や施設を拠点として、拠点のある区と隣接する区の会員等が集い、健康づくり・介護予防を目的とした種々のスポーツや文化活動等を行うことにより、区域を超えた会員同士の親睦を図るとともに、会員の更なる健康長寿を目指す事業に対して助成します。

⑦ 横浜市の事業「よこはま健康スタイル」との連携

横浜市では「健康寿命日本一」を目指し、日常生活の中で楽しみながら健康づくりができる仕組みづくりを進めています。

「よこはま健康スタイル」は、健康寿命日本一を目指した取り組みで、世代に応じた3つの事業があります。これらの取り組みと市老連事業との連携を図りながら、それぞれの事業を推進します。

- ・「よこはま健康スタンプラリー」：健診・健康づくり・社会活動の推進
- ・「よこはまウォーキングポイント」：歩数計を使ってウォーキングを推進
- ・「よこはまシニアボランティアポイント」：ボランティア活動の推進

(3) 社会参加活動の推進

① 「老人の日・老人週間」の推進

老人の日（9月15日）・老人週間（9月15日から21日までの1週間）

② 『社会奉仕の日』の取り組み

社会奉仕の日（9月20日）

(4) 友愛活動への支援

高齢者が同じ世代の仲間として支え合うクラブの友愛活動は、地域に定着しつつあります。友愛チーム、地区友愛活動部会、区友愛活動部会の取り組みが、より充実した活動になるよう助成します。

① 区及び地区友愛活動部会への支援

地域の高齢者ひとり一人にふさわしい支援を行い、日常的な繋がりをつくり支え合う友愛活動を推進するために助成します。

② 居場所たまり場づくりの支援（新規）

居場所たまり場づくりを推進するため、友愛チームや地区友愛部会が実施する居場所たまり場施設の借上げ経費の一部を地区友愛活動部会に助成します。

(5) 女性委員会活動の支援

クラブ会員の約61%を占める女性会員のニーズと特性を活かし、女性リーダーが参画し活性化したクラブ活動を展開するために、各区に設置した女性委員（部）会（以下「女性委員会」という。）の活動に助成します。また、女性委員会が事業を主管し企画・運営することにより、女性リーダーの育成を進めます。

① **区老連女性委員会主管事業への支援（拡充）**

これまで事業項目を限定してきましたが、項目を限定せず区老連主催の女性委員会主管事業に対し助成します。

② **かがやきクラブ横浜「認知症サポーター」10万人計画事業（再掲）**

(6) 区老連の文化活動事業等への支援

① **区老連文化活動自主事業**

高齢者を対象とした日常生活を豊かにする事業に対して助成します。

② **スポーツ・文化等リーダー養成事業**

区老連や地区老連において、スポーツ・文化活動など事業の企画・運営ができるリーダーを育成する「研修会・講習会」に対して助成します。

③ **教養講座（歴史・文学など）事業**

クラブ活動の魅力を高めるため、歴史・文学等の講座を開講する区老連に対して助成します。

2 スポーツ・文化事業

(1) 健康づくりの推進

クラブを拠点に、高齢者の健康維持増進と、健やかな生活を築くために進めている健康づくり活動を今後とも推進します。

① **「全国健康福祉祭」の予選会を兼ねて、シニアスポーツ大会を開催します。**

ア ゲートボール大会

開催日 平成29年4月5日

会場 保土ヶ谷公園『運動広場』

参加人員 各区 2チーム 選手他約400人

イ グラウンド・ゴルフ大会

開催日 平成29年4月12日

会場 金沢区『長浜公園』

参加人員 各区 6人 選手他約150人

ウ ペタンク大会

開催日 平成29年4月19日

会場 都筑区『葛が谷公園』

参加人員 各区 2チーム 選手他約200人

② **「全国健康福祉祭」（ねんりんピック）への参加協力**

開催日 平成29年9月9日～12日

会場 秋田県内

種目 ゲートボール、グラウンド・ゴルフ、ペタンク、囲碁、将棋

(2) 文化・趣味活動の推進

教養の向上・健康の増進並びに時代に適応した社会感覚と知識を深めるための学習活動を育成するとともに、生きがいを高める文化・趣味の活動として、次の事業を行います。

① 「全国健康福祉祭」の予選会を兼ねた囲碁・将棋大会の開催

ア 囲碁大会

開催日 平成29年4月21日
会場 うらしま荘
参加人員 各区5人(女性2人) 選手他約90人

イ 将棋大会

開催日 平成29年4月27日
会場 うらしま荘
参加人員 各区3人 選手他約70人

② カラオケ大会の開催

開催日 平成29年12月8日
会場 鶴見区サルビアホール
参加人員 各区2人 出場者 36人

③ 「シニアの祭典」の開催(再掲)

開催日 平成30年3月

3 講座・セミナー・育成事業

(1) 会員の増強及び会員意識の高揚

① クラブ会員の加入促進

減少傾向にあるクラブ会員の加入促進のため、各区老連と連携し、会員増強運動を進めます。

全国老人クラブ連合会(以下「全老連」という。)が推進している「100万人会員増強運動」と連携して会員数の増加に取り組みます。

② クラブ活性化行動計画の推進(1年延長)

会員増強や各種事業の工夫などクラブの活性化を図るため、「横浜市老連老人クラブ活性化行動計画」(平成25～29年度)を各区老連とともに推進します。

全老連の「100万人会員増強運動」(平成26～30年度)に合わせて推進期間を平成30年度まで1年延長します。

③ かがやきクラブ横浜大会の開催

市内約12万人のクラブ会員の代表が一堂に集い、永年にわたりクラブの運営に尽力された方々を顕彰するとともに、クラブの発展を期します。

会場 鶴見公会堂
開催日 平成29年10月13日
参加人員 約600人

(2) クラブ指導者の研修会の開催及び参加

① 区老連会長等役員研修会

各区老連会長等役員を対象とした研修会を開催します。

② 全老連等の各種研修会への参加

全老連及び関東甲信越静ブロック老人クラブ連絡協議会開催の各種研修会へ参加者を派遣します。

(3) 友愛活動の推進

友愛活動の活性化を目的として、次の研修や事業を実施します。

さらに、より多くの「居場所たまり場」の開設に努めます。

① 市老連友愛活動委員会の開催（年3回）

委員会では、各チームの活動を推進するための情報の提供など、各区においてより充実した取り組みができるよう検討します。

開催日 平成29年4月28日、9月15日、30年2月27日

② 市老連友愛活動研修会の開催（年2回）

市内232地区の代表を対象に、友愛活動に関する情報の提供と活動のあり方に関する研修を行い、友愛チームのより円滑な活動の定着化を図ります。

開催日 平成29年6月20日、11月14日

③ 活動事例集の作成

友愛活動をより推進するため、各区の取り組みの参考事例を活動別（①訪問②見守り③居場所・たまり場づくり④外出援助・日常生活支援など）に調査収集し、事例集を作成します。

(4) 女性委員会の強化

各区の女性委員会の強化や活動の活性化を目的として、女性リーダーの育成を図るため次の研修や事業を実施します。

① 市老連女性委員会の開催（年3回）

市老連女性委員会事業を主体的に企画・運営するために委員会を開催し、情報交換や意見交換をするとともに今後の活動計画を検討します。

開催日 平成29年4月14日、8月29日、30年2月15日

② 女性リーダー代表者研修会の開催

各区の女性委員会委員を対象に、各区の活動について情報交換や参考事例の紹介を行うとともに、女性リーダーの育成を図ります。

開催日 平成29年6月15日

③ 「認知症サポーター10万人計画」事業の企画、運営

④ 全老連女性リーダー研修会への参加

(5) 教養と知識を高める活動の推進

横浜シニア大学では、高齢者が主体的に生きるために必要な知識を学ぶ講座を実施します。また、昨年度に引き続き、若手リーダー・スポーツリーダーの養成を行います。さらに、今年度は、健康づくり・介護予防推進員の養成を行います。

① 横浜シニア大学の開講

ア 一般講座

主体的・活動的に生きる高齢者の養成をめざし、介護予防など的高齢者に必要な一般的知識と高齢者が自らの人生の再設計に必要な知識を学ぶ講座を開催します。

(ア) 合同開講式

開催日 平成29年6月8日
会場 関内ホール
参加人数 約800人

(イ) 各区会場

日程 平成29年6月～10月
会場 18会場
講座開設 12講座
受講定員 約1,000人

イ 特別講座

「健康寿命をのばそう」をテーマに連続講座を開催します。

日程 平成29年6月
会場 ウイリング横浜12階（上大岡）
講座開設 4講座
受講定員 100人

ウ 若手リーダー養成講座

区や地域において区老連、地区老連、単位クラブの各種事業の企画・運営に参画し、魅力と活力ある活動をつくることを目的に、新任単位クラブ会長や今後単位クラブを担おうとする概ね70歳未満の人たちを対象に、リーダー養成講座を開催します。

日程 平成29年8月～11月
会場 うらしま荘会議室他
受講定員 60人

エ スポーツリーダー養成講座

クラブが行うスポーツ活動を充実するため、スポーツリーダーとして必要な知識、技術の習得を図る養成講座を開催します。

○ペタンク講習会

開催日 平成29年9月26日、10月3日
会場 うらしま荘他
受講定員 40人

○グラウンド・ゴルフ講習会

開催日 平成29年9月21日、10月5日

会場 うらしま荘他

受講定員 40人

② 健康づくり・介護予防推進員の養成（再掲）

4 老人福祉センターの運営事業

老人福祉センターは、老人福祉法に基づく施設で、地域の高齢者に対して、健康の維持・増進、教養の向上、レクリエーションの提供や、生活・健康等の各種相談に応じるなど、各種のサービスを総合的に提供することを目的としています。

なお、老人クラブの会員加入促進キャンペーンを昨年度に引き続き行います。

名称	所在地	主な施設
蓬萊荘	横浜市港南区港南台 6-22-38	大広間、風呂、機能回復訓練室、読書室 等
狩場緑風荘	横浜市保土ヶ谷区狩場町 295-2	大広間、風呂、機能回復訓練室、娯楽室 等
菊名寿楽荘	横浜市港北区菊名 3丁目 10-20	大広間、風呂、プレイルーム、トレーニングコーナー 等

5 広報・企画・調査事業

クラブ会員、市民に向けて老人クラブ活動や健康、教養、生きがいにつながる情報を提供するため、機関紙の発行、ホームページの充実などの広報事業を行います。

また、クラブの愛称「かがやきクラブ」の利用を進め、イメージアップを図るとともに、友愛活動事例集を作成、各区老連の会員数増減の実態把握や各種クラブ活動の事例等の収集を行います。

① 機関紙『かがやきだより横浜』の発行

年4回（4月、7月、10月、1月） 全面カラー版 発行部数 各12万部

② ホームページの充実

随時更新（クラブの役割・使命の紹介、市老連事業の参加者募集など）

③ 愛称「かがやきクラブ」の利用促進と普及

クラブの愛称「かがやきクラブ」利用を進め、幅広く周知します。

④ 友愛活動事例集の作成（再掲）

II 法人の運営

1 理事会・評議員会等の開催

公益財団法人として適切な運営を行うため、次の会議等を開催します。

- ・ 理事会 平成29年6月 7日
- ・ 評議員会 平成29年6月22日
- ・ 理事会 平成30年3月14日

その他、必要に応じて随時開催します。

2 正副理事長会、区老連会長連絡協議会、その他の諸会議の開催

必要に応じて随時開催します。

- ・ 正副理事長会
- ・ 区老連会長連絡協議会
- ・ 財産運用委員会
- ・ コンプライアンス委員会
- ・ 区老連事務職員事務説明会